

### 編集後記

このたび本雑誌の編集委員に加わりました。委員会のもと任に励みます。よろしく願い申し上げます。

第114回日本医史学会・第41回日本歯科医史学会合同総会・学術大会が5月11・12日に開催されてから、はや半年が過ぎました。今大会では実行委員長として携わらせていただきました。西巻明彦会長の的確な采配と寛容なお心のもと、スタッフ一丸となり運営にあたることができました。大会にご参集いただいた先生方、誠にありがとうございました。

先日、大阪市中央区道修町に移転した公益財団法人武田科学振興財団杏雨書屋を訪れました。設立50周年を迎えた武田科学振興財団は、今秋、武田薬品旧本社ビル（道修町2-3-6）に移転しました。杏雨書屋は、大正12年（1923）の関東大震災で多くの貴重な典籍が失われたことを嘆いた五代武田長兵衛氏が医薬書を中心とした善本を収集したことに始まり、現在は国宝や重要文化財ほか多数の資料を収蔵する一大図書資料館です。移転にともない資料閲覧などは来年以降の開始が予定されていますが、10月1日より展示室がオープンされました。現在「神農」をテーマに展示が行われています（2014年3月28日までを予定）。展示室は午前10時～午後4時まで開館、土・日・祝日・年末年始は休館。当地の道修町は江戸時代から薬の街として栄えたことで知られ、杏雨書屋のほど近くには薬の神様を祀る少彦名神社もあります。会員諸氏の訪問、研究への活用をお勧めします。

（天野 陽介）